

ほっとNEWS

2006.5.24発行
 発行人:医療法人社団和旭会
 呉市広白石4丁目7番22号
 TEL (0823) 70-0555



ふたば病院就任御挨拶

大村一郎先生のお誘いで国立呉病院内科へ採用となり、平成16年呉医療センター統括診療部長兼特命副院長併任を最後に、平成18年3月31日定年退官となりました。

属しています。毎週土曜日焼山運動公園で、レントゲン科の菊田先生と一緒にプレーを楽しんでいます。仲間が減少気味で困っています、ソフトテニスされる方はぜひ一緒にしましょう。下手なゴルフも好きです。下手でも参加できるコンペがあればどうか仲間に入れてください。

今回ふたば病院にお世話になることになりました、野間興二です。

私は呉育ちで、阿賀小学校を

経て原小学校、東畑中学校、昭和40年広島大学医学部を卒業し、広島大学医学部第二内科へ入局しました。昭和47年「血中インスリン動態に関する臨床的研究」のテーマで学位を取得しました。昭和49年3月まで、広島大学医学部第二内科で糖尿病を中心に研究して参りました。その後共済病院内分泌科医長、大竹病院内科を経て昭和52年5月

今回再び大村先生のお誘いで、ふたば病院にお世話になることになりました。糖尿病、甲状腺を中心に内分泌・代謝疾患を専門にしております。勿論内科疾患は何でも診ますので、気軽に相談ください。

今後とも宜しくお願いいたします。

野間 興二

住まいは平原神社の近くで、

老夫婦二人暮らしです。朝はラッシュのため、ふたば病院まで車で30分ぐらいかかります。趣味は運動で、大のカーブファンです。近年カーブが弱くて、充分に楽しめないのが残念です。今年こそは、Aクラスに入って

もらいたいものです。広の眼科開業医、田坂先生のお誘いで、呉医師会のソフトテニス部に所



呉市川尻・安浦地域包括支援センター開設

4月1日から呉市に8ヶ所設置された地域包括支援センターの川尻・安浦地域を担当する。呉市川尻・安浦地域包括支援センターを、医療法人社団和恒会が呉市の委託を受け、呉市安浦町に開設いたしました。スタッフは、ケアマネージャー、保健師、社会福祉士の3職種で、地域の方や関係機関の方に助けていただきながら、日々活動しております。

①総合相談業務

地域の社会資源との連携を行い、総合的な相談業務を行います。

②権利擁護事業

被保険者に対する虐待の防止、早期発見などの権利擁護事業を行います。

③介護予防ケアマネジメント

利用者の心身の状態や生活機能低下の背景、原因を分析し、利用者の意向を聞きながら個別に目標や目標達成のための具体策を立てます。

④包括的・継続的ケアマネジメント事業

関係機関と連携し、ケアマネジメントなどのバックアップなどを行います。

地域包括支援センターは、この4月の介護保険法改正で地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的に全国の市区町村に設置されました。主な業務としては①総合相談・支援②権利擁護③介護予防ケアマネジメント④包括的・継続的ケアマネジメント支援を行います。3職種のスタッフが連携を取り総合的に地域の高齢者の方の支援を行います。



まだまだ開所したばかりで戸惑うこともありましたが、高齢者の方が住みなれた地域でその人らしい生活を継続できるよう他機関との連携を行い、また気軽になんでもご相談していただける窓口となれるよう活動していきたいと思えます。

短期入所生活介護事業所 ふたばの里開設

四月一日、短期入所生活介護事業所ふたばの里が開設されました。

短期入所生活介護は、ご自宅で生活されている要介護状態の方が一時的に短期間入所して入浴・排泄・食事等の介護やクラブ・教養娯楽等の日常生活のサービスを受けていただくものです。その目的は、ご自宅での生活を継続できるように生活を安定させて、心身機能の維持・改善を図るものであり、また一方では、家族の方の身体的・精神的負担を軽減したり、病气や出張・冠婚葬祭等のために臨時的に利用することによって、家族の方の生活支援を図るものでもあります。

ふたばの里は定員二十名で、個室が十八室と二人部屋が一室あります。気兼ねなくご自宅と同じ感覚で過ごしていただけるように、また二人部屋はご夫婦でもご利用して

いただけるようにと考えられたものです。

医師をはじめ、看護師・介護職員・相談員がチームとなって、利用者とその家族の方に満足していただけるよう努めてまいりますのでよろしくお祈り致します。

生活相談員

岸本 良子



第12回ふたば講演会

平成十四年から開催して

おりますふたば講演会も、

今回で十二回となりました。

今回は鳥根大学医学部精神医学講座教授の堀口淳先生をお招きし、「良性と悪性のもの忘れ〜最近の精神科診察室の風景から〜」の演題の下、認知症についての講演をしていただきました。

ここでは講演の中で先生にお話いただいた認知症について、対応方法、予防方法について紹介させていただきます。

認知症について

①もの忘れが多い

高齢になると誰でももの忘れが多くなるが、必ずしも認知症というわけではなく、高年齢になると誰でももの忘れが多くなるが、必ずしも認知症というわけではなく、

②良性と悪性のもの忘れ

外来受診に来る物忘れのうち、多くは良性のもの忘れであり、脳梗塞などによる悪性のもの忘れ、つまり

認知症は60人に1人である。

③認知症に似た病氣

認知症に似ているが、寝ぼけた状態やうつ病、健忘症など認知症ではない病氣もある。

④認知症恐怖症

もの忘れで受診に来る人の5人中4人弱が認知症恐怖症（認知症ではないかという恐れ）である。

対応方法、予防方法

①注意ばかりではダメ

できない所を注意するばかりではなく、できている所をきちんとほめる。

②趣味を持つ

友人と一緒に楽しめる趣味をサポートする。

③男らしさ女らしさを忘れない
男らしさ、女らしさを意識して日常生活を送る。

④発症に気づくには
認知症の発症を見極める手がかりの一つとして、性格の変化を見逃さない。



リレーコラム

No. 15

私の お仕事

「私達のお仕事」

平成18年4月1日より開設しました、短期入所生活介護事業所「ふたばの里」です。職員総勢7名、利用者数最大20名という小ぶりな施設です。

ここでは在宅で生活されている要支援・要介護者とその家族が、この施設を利用していただく事で少しでも気分転換出来る様にサポートしていく事が私達の仕事です。

利用者様が、自分のペースで毎日を穏やかに過ごし、時には集団訓練で他者との関わりを持つ等、自宅に居る様な感覚を持ちつつ施設で生活しているというメリハリのある日々が送れる様、精進していきたいと思っております。

入退所の出入りが激しいのが難点ですが、その反面、沢山の出会いがあるので、他施設では味わえない楽しさ・不安があります。利用者様と職員とでより良い環境を造っていきたいと思います。ゼロからのスタートで、職員一の手さぐり状態なので、皆様からの御協力、御指導等、何とぞ宜しくお願い致します。

ふたばの里 職員一同

デイケアお花見



去る4月4日に安芸津にある正福寺山公園までお花見に行ってきました。仕出しのお弁当を注文し遠方へのお出かけという初の試みでしたが、19名のメンバーさんが参加してくれました。

幸い天候にも恵まれたものの肝心の桜の花は3分咲きといったところで、「お花見」というものより「ピクニック」といった色が強くなってしまいました。それでも参加された方の多くは「外に出かけること」を喜んでおられ、桜の花と瀬戸の海を見ながら「春の到来」を感じておられたように思えます。

季節が来るとなんとなく「寒くなったね」や「暑くなったね」といった声は聞かれるものの、外来通院されている方でも「変わり行く四季の模様」を感じ取ることは少な

いようです。自分たちでイベントを企画し実行するのは難しいけれど、「ちよっとしたきっかけ」があれば「じゃあそれやってみようかしら」という方はたくさんいらっしゃいます。その「きっかけ」を提供することで活動に主体的に参加できるようになり、結果その人の生活に潤いをもたらすことができればどれだけ楽しく幸せなことでしょうか？

「世の中でありきたりに行われていること」をメンバーの皆さんにもより多く体験していただけるように、これからも「きっかけ」を作り続けたいと思っています。

作業療法士

荒木 薫

第15回

Let's cooking

「夏みかんでマーマレードを作ってみませんか」

夏みかんにはビタミンCの含有量が多く、白血球の風邪に対する免疫力を高めてくれる作用があります。またビタミンCはカルシウムの吸収をスムーズにするので成長期の子供には欠かせない栄養素の一つです。

《マーマレード》

材料

・夏みかん(甘夏、八朔でも可)
・砂糖(みかんの重さの60%)

作り方

- (1)夏みかんはよく洗い皮と果肉とに分けておく
- (2)皮は八等分に切り1mm巾に刻む
- (3)三回は茹でておぼしを取、アクを抜く
- (4)果肉は袋から出し種を取って、アクを抜く
- (5)鍋に茹でた皮と袋から出した実を入れ分量の砂糖を振りかけ、しばらく置いておく
- (6)蓋をしなくて中火で焦がさないよう30〜60分位煮込む。アクが出たら取り除く。
- (7)皮も柔らかく透明になり、皮と実が半々位の割合になれば火を止める
- (8)消毒された容器に入れて出来上り

果肉をたっぷり使って作るマーマレードで、フルーツソースや、材料の隠し味としておおいに利用して料理に変化をもたせてみてはいかがでしょうか。

管理栄養士 佐々木 由美子

編集後記

暦の上では早5月を迎えています。まだ肌寒い日が続いています。

気温も暖かくなったり寒くなったりで、体調の変化が気になります。服装などにも気を付けながらしっかりと体調管理を行いましょう。

さて、この度も無事「ほっとニクス Vol17」を発行することができました。ご協力下さった皆さま本当にありがとうございます。

次回も本誌発行に向けて力を入れていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

ふたば病院の施設

- ふたば病院
- 介護老人保健施設 パナケイア
- 在宅介護支援センター ふたば
- 居宅介護支援事業所ふたば
- 訪問介護事業所ふたば
- 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ふたばの家
- 地域生活支援センター ふたば
- ふたば居宅介護支援事業所宮原
- ふたば訪問介護事業所宮原
- 重度認知症患者ケア ふたばの森
- 短期入所生活介護事業所 ふたばの里

ふたば病院

